

# 女性学長はどうすれば増えるか？ ～日本の大学の構造的特質と将来展望～

2021年11月27日(土)・11月28日(日) オンラインでの2日間 14時～17時 参加費無料

目的・趣旨

本共同研究は、女性学長・リーダーを生み出し、育成していくための展望を探るため、文献調査や統計調査、インタビュー調査を行ってきました。本シンポジウムは、結果の概要を報告するとともに、実際の女性学長らの講演とディスカッションをふまえて、日本の大学におけるダイバーシティとそれを支えるリーダーシップやその育成を議論し、社会に発信することを目的として開催します。なお、1月に開催を予定している国際シンポジウムでは、海外の大学の女性リーダーシップ育成の現状をうかがい、日本の大学の将来を展望します。

## 1日目 2021年11月27日(土) 女性学長のキャリア形成と展望Ⅰ

開会 14:00～14:15

河野銀子(山形大学教授)

研究報告 14:15～14:35

「女性学長のリーダーシップとキャリア」 黄梅英(尚絅学院大学教授)

学長講演(各20分) 14:40～15:45

高橋裕子(津田塾大学学長)「学長会議の風景を変える」

田中優子(前法政大学総長)「多様性と熟議」

富田敬子(常磐大学学長)「地方大学の女性学長というアイコン」

パネル・ディスカッション 15:45～16:45

「女性大学リーダー育成に何が必要か」

ファシリテーター：米澤彰純(東北大学教授)

閉会 16:45～16:55

まとめ 佐々木啓子(電気通信大学名誉教授)

## 2日目 2021年11月28日(日) 女性学長のキャリア形成と展望Ⅱ

開会 14:00～14:07

河野銀子(山形大学教授)

研究報告 14:07～14:17

「日本の男女学長のキャリアパス」 佐々木啓子(電気通信大学名誉教授)

学長講演(各20分) 14:20～15:45

島袋香子(北里大学学長)「『学長』に看護の視座で挑む」

林佳世子(東京外国語大学学長)「国立大学の学長選出と女性」

小林良江(群馬県立女子大学学長)「女性学長とそのメッセージ性」

日比谷潤子(前国際基督教大学学長)「学長室の窓から」

パネル・ディスカッション 15:45～16:45

「日本の大学構造と女性学長のキャリア形成」

ファシリテーター：高橋裕子(津田塾大学学長)

閉会 16:45～16:55

まとめ 黄梅英(尚絅学院大学教授)

申込方法

11月1日より <https://science-online.jp/yamagata1127/form.html> または、申し込みQRコードよりお申込みください。

定員(1,000名)に達し次第、締め切りとさせていただきます。

1回の申し込みで2日間の視聴が可能です。シンポジウム後、期間限定でアーカイブの公開(申し込み者限定)を予定しています。

その他

本シンポジウムをベースにした一般向け本の出版を計画しています。どうぞご期待ください。

国際シンポジウム(1月)のテーマは「女性学長の育成とネットワーク」です。よろしかったらご視聴ください。(別途、申し込みが必要です)

お問い合わせ E-mail: [fpsg.master@gmail.com](mailto:fpsg.master@gmail.com)



申し込みQRコード

主催：女性学長研究会(JSPS:19K21738) 共催：津田塾大学ダイバーシティセンター・フォー・インクルーシブリーダーシップ  
対象及び定員：大学関係者、高等教育やジェンダー関係の研究者、大学・短期大学・高等専門学校等の男女共同参画に携わる教職員、大学院生、学生等、1,000名